

特定調達品目候補群一覧表(目的物)

提案品目名及び提案品目の概要は提案資料から抜粋したものです。

統合品目名	提案品目名	提案品目の概要	比較対象品目名	検討結果	
				分類	理由等
保水性舗装	透水性ー保水性兼備型 ヒートアイランド抑制舗 装	排水性アスファルト舗装の空隙の一部に、高炉スラグを原料とした保水材を注入 する舗装工法。排水性アスファルト舗装空隙を全て保水材で充填しないため、透 水性を維持しつつ、保水性を付与できる。舗装空隙が残存するため、吸音性も 保持できる。保水層に吸収された水の気化熱で路面を冷却し、都市部のヒートア イランド現象を抑止することができる。	排水性舗装	EQC	○本品目については、統合品目「保水性舗装」に該当するものと判断して検討させていただきました。 ○検討の結果、以下の理由により次回以降の特定調達品目の候補として継続的に検討させていただくこととしま した。 ①期待される環境負荷低減効果が十分か、継続的な検討が必要と考えられる。 ・開粒度アスファルト混合物の空隙に保水性セメントが混入されているため、アスファルト混合物としてリサイクル が可能か確認が必要であるため ②JIS・JAS等の公的基準に適合していないなど、品質確保について不確実性が残ると考えられる。
保水性舗装	ILB	保水性ブロックの主原料となる鉄鋼用軟質水砕スラグは骨材自身に微細な隙間 を有し、その隙間に雨水等が浸水し、保水する。保水性インターロッキングブロッ クは使用原材料として鉄鋼用軟質水砕スラグと、セメントとして生活ごみを主原 料としたエコセメントを用いており、天然資源の使用量を削減できる。	排水性舗装	EQC	○本品目については、統合品目「保水性舗装」に該当するものと判断して検討させていただきました。 ○検討の結果、以下の理由により次回以降の特定調達品目の候補として継続的に検討させていただくこととしま した。 ①期待される環境負荷低減効果が十分か、継続的な検討が必要と考えられる。 ・開粒度アスファルト混合物の空隙に保水性セメントが混入されているため、アスファルト混合物としてリサイクル が可能か確認が必要であるため ②JIS・JAS等の公的基準に適合していないなど、品質確保について不確実性が残ると考えられる。
保水性舗装	FUJI(吸水型保水性焼 成物)	製紙産業廃棄物や無機珪砂(キラ)、陶磁器屑の再生材料を体積比約85% (重量比約60%)を用い、高温焼成した舗装用ブロックである。さらに、舗装用ブ ロックの内部に微細な連続気孔を形成させ、吸水と保水性を兼ね備え、真夏の ヒートアイランド現象に対して水の蒸散により潜熱で表面温度を低下させる保水 性舗装用ブロックであることを特徴とする。保水性の機能は25～30%の高い保 水率と80～99%の吸上げ高さ(インターロッキングブロック協会保水性ブロック 規格による)により、5日間以上の温度低減を持続させる能力(国土交通省関東	排水性舗装	EQC	○本品目については、統合品目「保水性舗装」に該当するものと判断して検討させていただきました。 ○検討の結果、以下の理由により次回以降の特定調達品目の候補として継続的に検討させていただくこととしま した。 ①期待される環境負荷低減効果が十分か、継続的な検討が必要と考えられる。 ・開粒度アスファルト混合物の空隙に保水性セメントが混入されているため、アスファルト混合物としてリサイクル が可能か確認が必要であるため ②JIS・JAS等の公的基準に適合していないなど、品質確保について不確実性が残ると考えられる。
保水性舗装	保水性インター(ロッキン グブロック)	保水性と透水性という相反する2つの機能を併せ持つインターロッキングブロッ ク。保水性インターは保水と透水のバランスで最適な空隙径を設定している為、 水分が飽和状態近くまでは保水し、余剰水は透水する。	排水性舗装	EQC	○本品目については、統合品目「保水性舗装」に該当するものと判断して検討させていただきました。 ○検討の結果、以下の理由により次回以降の特定調達品目の候補として継続的に検討させていただくこととしま した。 ①期待される環境負荷低減効果が十分か、継続的な検討が必要と考えられる。 ・開粒度アスファルト混合物の空隙に保水性セメントが混入されているため、アスファルト混合物としてリサイクル が可能か確認が必要であるため ②JIS・JAS等の公的基準に適合していないなど、品質確保について不確実性が残ると考えられる。
保水性舗装	クールペープ	アスファルト舗装は熱を蓄熱しやすく、夏季の日中には気温30～40℃において 60℃にも達することがある。このため、アスファルト舗装が占める面積が大きい 都市部では、都市全体の気温を高くするいわゆるヒートアイランド現象の一因に なっているとの指摘もある。提案の舗装は、舗装内部の空隙に水分を保持でき る吸水性ポリマーと、吸水性の高い保水材が注入されており、保持した水分が 蒸発することによって、舗装の蓄熱量を抑えることができ、周辺熱収支量の低減 (体感気温差で約2℃)に寄与できるものと言える。	排水性舗装	EQC	○本品目については、統合品目「保水性舗装」に該当するものと判断して検討させていただきました。 ○検討の結果、以下の理由により次回以降の特定調達品目の候補として継続的に検討させていただくこととしま した。 ①期待される環境負荷低減効果が十分か、継続的な検討が必要と考えられる。 ・開粒度アスファルト混合物の空隙に保水性セメントが混入されているため、アスファルト混合物としてリサイクル が可能か確認が必要であるため ②JIS・JAS等の公的基準に適合していないなど、品質確保について不確実性が残ると考えられる。
保水性舗装	保水性コンクリート	保水性コンクリート製品は、近年の環境問題であるヒートアイランド現象に対し有 効なものであり、降雨によって浸透した水分を、気温の上昇にともない表面から 水分を蒸散させ気化熱冷却効果で温度上昇を抑制する。	排水性舗装	EQC	○本品目については、統合品目「保水性舗装」に該当するものと判断して検討させていただきました。 ○検討の結果、以下の理由により次回以降の特定調達品目の候補として継続的に検討させていただくこととしま した。 ①期待される環境負荷低減効果が十分か、継続的な検討が必要と考えられる。 ・開粒度アスファルト混合物の空隙に保水性セメントが混入されているため、アスファルト混合物としてリサイクル が可能か確認が必要であるため ②JIS・JAS等の公的基準に適合していないなど、品質確保について不確実性が残ると考えられる。
保水性舗装	保水性 インターロッキ ングブロック	インターロッキングブロック舗装材は高炉セメント、粗骨材、細骨材及び軽量発 泡コンクリートリサイクル材で構成されたものである。 軽量発泡コンクリートリサイクル材は高い保水性を有しており、降雨時、飽和状 態まで雨水を吸収し、炎天下の舗装表面温度の上昇を緩和する。また、夏日の 打ち水を保水して同様の効果がある。	排水性舗装	EQC	○本品目については、統合品目「保水性舗装」に該当するものと判断して検討させていただきました。 ○検討の結果、以下の理由により次回以降の特定調達品目の候補として継続的に検討させていただくこととしま した。 ①期待される環境負荷低減効果が十分か、継続的な検討が必要と考えられる。 ・開粒度アスファルト混合物の空隙に保水性セメントが混入されているため、アスファルト混合物としてリサイクル が可能か確認が必要であるため ②JIS・JAS等の公的基準に適合していないなど、品質確保について不確実性が残ると考えられる。

特定調達品目候補群一覧表(目的物)

提案品目名及び提案品目の概要は提案資料から抜粋したものです。

統合品目名	提案品目名	提案品目の概要	比較対象品目名	検討結果	
				分類	理由等
保水性舗装	保水性コンクリート平板 (蒸発冷却舗装用コンクリート平板)	(1)保水タイプ 多孔質構造のコンクリート平板で保水機能及び蒸発冷却機能を有した舗装平板。 (2)保水・透水タイプ ポーラス構造と多孔質構造が均一分布したコンクリート平板で透水機能及び保水機能及び蒸発冷却機能等の複数機能を有した舗装平板。	排水性舗装	EQC	○本品目については、統合品目「保水性舗装」に該当するものと判断して検討させていただきました。 ○検討の結果、以下の理由により次回以降の特定調達品目の候補として継続的に検討させていただくこととしました。 ①期待される環境負荷低減効果が十分か、継続的な検討が必要と考えられる。 ・開粒度アスファルト混合物の空隙に保水性セメントが混入されているため、アスファルト混合物としてリサイクルが可能か確認が必要であるため ②JIS・JAS等の公的基準に適合していないなど、品質確保について不確実性が残ると考えられる。
遮熱性舗装	クールパーピアス	排水性舗装にパーフェクトクール(遮熱コート)をコーティングした遮熱排水性舗装で、排水性舗装の機能(騒音低減、排水機能など)に加え、路面温度上昇抑制機能を付与したもの。特にヒートアイランド現象が顕著な都市部において効果的な多機能型排水性舗装。パーフェクトクールの代表的な色には、濃灰色タイプや灰色タイプ等がある。保水性舗装に比べ、路面温度上昇抑制機能発揮のための、水分補給などの管理が不要。	排水性舗装	EQC	○本品目については、統合品目「遮熱性舗装」に該当するものと判断して検討させていただきました。 ○検討の結果、以下の理由により次回以降の特定調達品目の候補として継続的に検討させていただくこととしました。 ①期待される環境負荷低減効果が十分か、継続的な検討が必要と考えられる。 ・コーティング材が混入されるため、アスファルト混合物としてリサイクルが可能か確認が必要であるため ②JIS・JAS等の公的基準に適合していないなど、品質確保について不確実性が残ると考えられる。 ③比較対象品と比べてコストが高い。
保水性舗装	クールポリシール	クールポリシールは、高空隙のベースアスファルト混合物に、保水効果の高い特殊セメントミルク(クールグラウト)を充填した保水性舗装です。水が蒸発する際の気化熱により、効果的に路面温度の上昇を抑制します。特に都市部におけるヒートアイランド現象の緩和に最適です。	排水性舗装	EQC	○本品目については、統合品目「保水性舗装」に該当するものと判断して検討させていただきました。 ○検討の結果、以下の理由により次回以降の特定調達品目の候補として継続的に検討させていただくこととしました。 ①期待される環境負荷低減効果が十分か、継続的な検討が必要と考えられる。 ・開粒度アスファルト混合物の空隙に保水性セメントが混入されているため、アスファルト混合物としてリサイクルが可能か確認が必要であるため ②JIS・JAS等の公的基準に適合していないなど、品質確保について不確実性が残ると考えられる。
遮熱性舗装	遮熱性舗装	従来の舗装路面に塗装施工することにより、夏場日中の温度上昇及び路面蓄熱を抑制し、夜間の放熱抑制等によるヒートアイランド対策として有効な手段となる。低臭気であり速乾性が高いため、施工時の周辺環境への配慮も可能である。保水性舗装のように舗装そのものを打ちかえる必要がなく、従来舗装の上に塗装するだけの簡易な手法で温度低減効果を発現する。駐車場、歩道、車道、その他民間企業敷地内等、試験施工含め約7800㎡の施工実績がある。	排水性舗装	EQC	○本品目については、統合品目「遮熱性舗装」に該当するものと判断して検討させていただきました。 ○検討の結果、以下の理由により次回以降の特定調達品目の候補として継続的に検討させていただくこととしました。 ①期待される環境負荷低減効果が十分か、継続的な検討が必要と考えられる。 ・コーティング材が混入されるため、アスファルト混合物としてリサイクルが可能か確認が必要であるため ②JIS・JAS等の公的基準に適合していないなど、品質確保について不確実性が残ると考えられる。 ③比較対象品と比べてコストが高い。